

一般社団法人日本歯科人間ドック学会 雑誌投稿規程

(平成24年6月17日制定)

(平成24年12月7日改定)

(平成29年6月4日改定)

1. 投稿資格 : 本誌に投稿する筆頭演者は、定款第6条に定める会員に限る。共同演者は会員または本会認定制度規則第15条に定める認定施設登録会員とする。
2. 原稿の内容 : 投稿論文の内容は本会および本誌の目的に適した未発表のものに限る。
3. 原稿の種類 : 原稿の種類は総説、原著(新規性が高く客観的な結論が得られるもの)、研究報告、解説、その他のいずれかとする。なお、投稿原稿については複数の査読者の意見をもとに編集委員会で検討し、その採否を決定する。また、体裁の統一は編集委員会に一任する。
4. 投稿倫理 :
 - 1) ヒトを対象とした研究発表を行う場合には、ヘルシンキ宣言を遵守し、被験者および患者からインフォームドコンセントを得ていること、また所属機関の倫理委員会の承認を得ていること等の明記を必要とする。
 - 2) 動物を対象とする場合には、「所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていること」等の明記を必要とする。
 - 3) 患者を対象とした場合は、「臨床研究に関する倫理指針」(平成20年厚生労働省告示第415号)に従い、特に臨床所見や写真など資料および検体等に由来するデータの公表に際しては、患者からの承諾を得ていること。またその際は、資料等から個人が特定されることのないよう、個人情報の保護を徹底すること。
 - 4) 疫学研究に関する発表を行う際には、「疫学研究に関する倫理指針」(平成19年文部科学省・厚生労働省告示第1号)に従ったものであること。また発表に際しては、調査対象者の人権およびその属するコミュニティに対する影響を考慮した上で論述すること。
 - 5) ヒトゲノムあるいは遺伝子解析に関する研究の発表を行う際には、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(平成25年2月8日正文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)に従ったものであること。また発表に際しては、試料提供者の尊厳および人権に十分配慮するとともに、社会に対する影響を考慮した上で論述すること。
 - 6) 個人情報の保護に関する法律(平成27年9月9日法律第65号)で定められた、個人情報の適切な取扱いのルールに則って論述すること。
5. 投稿票 : 投稿票に必要事項を記載し、投稿原稿に添付する。
6. 承諾書 : 承諾書に必要事項を記載し、著者全員の署名・捺印したものを投稿原稿に添付する。
7. 投稿料 : 投稿論文の掲載料 : 2頁まで無料、3頁以降は8,000円×頁数、
図版製作費 : 図は700円×枚数、写真は800円×枚数、
カラー印刷 : 1頁に図、写真1枚掲載の場合約52,000円を著者負担とする。
8. 別刷 : 別刷を希望する場合は投稿票に希望部数を記すこと。30部までは無料、30部以上は100円×部数、表紙製作費は部数に関係なく5,000円、送料は無料とする。

9. 校 正 : 著者校正は原則として初校のみとし、その際の校正は印刷上の誤りの訂正のみとする。なお、投稿者が連名の場合は、校正責任者と送付先を明記すること。

10. 原稿様式 : 原稿の書き方は次の要領による。

- 1) 原稿は A4 判 400 字詰原稿用紙を用い、口語体、新かなづかい、横書きとする。ワードプロセッサを使用の場合は A4 判用紙を使い、40 字×20 行の 800 字で印刷する。
- 2) 原稿は表紙、和文抄録、本文、(原著論文の場合は原則として緒言、対象および方法、結果、考察、結論の順とする)、文献、著者への連絡先、英文抄録、表、図の順に綴じ、表紙から通しページ番号を付ける。
- 3) 表紙には和文で表題、著者名(共同研究等で複数の所属機関に属する場合は、著者名の右肩に 1)、2)・・・の数字を附して対応させる)、所属機関名、指導者名(必要な場合のみ記入)の順に書く。
- 4) 和文抄録は 400~500 字とし、最後に和文のキーワード(5 語程度)を付ける。
- 5) 英文抄録は表題、著者名、所属機関名、指導者名(必要な場合のみ記入)抄録文(200~300words)とし、最後に英文の Key word(5 words 程度)を付ける。英文氏名表記は、姓(すべて大文字)・名(頭文字のみ大文字)とする。(例: YAMADA Taro)。英文抄録は編集委員会で専門家に添削を依頼する。添削にかかわる費用(約 3,000 円)は著者負担とする。
- 6) 和文中の外国語は原綴りとする。
- 7) 数字はアラビア数字とし、単位記号は原則として国際単位系(SI)を使用することとする。
- 8) 学術用語は日本歯科医学会学術用語集(日本歯科医学会編、医歯薬出版、2008 年)に準拠する。
- 9) 図版および写真は 1 枚に 1 点ずつとして本文末にまとめ、表 1、図 1(写真も含む)などとし、挿入箇所は本文中右欄外に朱書きする。また、図表の表題および説明は和文とする。
- 10) 文献は次の要領で記載する。
 - ・引用文献は引用順に一括配列し、おのおの対照番号をつける。
 - ・雑誌の場合、著者名が複数であっても省略しないこと。
著者 : 表題, 雑誌名, 年 ; 巻 : ページ.
例 : Listgarten MA, Rosonberg MM : Histological study of repair following new attachment procedures in human periodontal lesions, J Periodontol, 1979; 50: 333-334.
 - ・単行本で、分担執筆によるものは、編集者名または監修者名を記載する。
 - (1) 単行本 :
著者 : 書名, 版, 発行所, 発行地, 発行年, 引用ページ
例 : 藤田恒太郎 : 歯の組織学, 第 5 版, 医歯薬出版, 東京, 1963, 145-146.
例 : Papapanou PN, Lindhe J : Epidemiology of periodontal disease.
In : Lindhe J, Karring T, Lang NP, eds, Clinical periodontology and implant dentistry, 3rd ed Munksgaric, Copenhagen, 1997, 69-101.

同一単行本で、複数の場所を引用する場合は、ひとつの対照番号を用い、引用ページを連記する。

著者：書名，版，発行所，発行地，発行年，引用ページ，引用ページ。

(2) 分担執筆による単行本：

分担者：分担表題名，編集者名（監修者名），単行本名，発行所，発行地，発行年，引用ページ。

例：上野和之：正常な歯周組織の形態と機能，中静 正，石川 純，歯周治療学，医歯薬出版，東京，1981，5-25。

- ・翻訳単行本については、原著者または監修者名と翻訳者名を併記する。

原著者名（外国語で）：翻訳者名（訳）：翻訳単行本名，発行所，発行年，引用ページ。

例：Schluger, R.C.：青野正男（監訳）：シュルーガー最新歯周治療学，医歯薬出版，1981，200-300。

- ・雑誌略名は当該雑誌で規定されている省略法を採用すること。

- 1 1. 利益相反（COI）に関する言及が必要な場合は、謝辞に記載する。
- 1 2. 著作権：本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属するものとする。
- 1 3. 投稿先：原稿（オリジナルの他にコピー2部を添付）は投稿票、承諾書を必ず添えて書留便で下記に郵送のこと。別に一部手元にコピー原稿を保存すること、また原稿（オリジナル）は原則として返却しない。

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル 5F

（一財）口腔保健協会内 日本歯科人間ドック学会誌編集委員会

この規程にない事項は編集委員会で決定する。